



【平城遷都1300年記念アジアコスモポリタン賞】 第3回受賞者を発表

【大賞】

テイン・セイン

前ミャンマー連邦共和国大統領

【経済・社会科学賞】

藤田 昌久

甲南大学特別客員教授

京都大学経済研究所特任教授

【文化賞】

ヘルマン・ファン・ロンパイ

日EU俳句交流大使

欧州理事会名誉議長

ASIA COSMOPOLITAN AWARDS(平城遷都1300年記念アジアコスモポリタン賞)は、「大賞」、「経済・社会科学賞」、「文化賞」、の3賞について第3回受賞者を上記の通り発表します。

ASIA COSMOPOLITAN AWARDSは2年に一度、東アジア域内における文化面、経済面での地域統合、域内の格差是正、持続可能な成長社会形成を主眼に、2012年に創設され、質的に充実した東アジア共同体形成に資する優れた活動を行った個人・団体に対し、国籍を問わず、授与される今回第3回目となる国際賞です。

また、本賞の授賞式典ならびに受賞を記念した基調講演、受賞者による記念講演を含む記念フォーラム「アジアコスモポリタン賞受賞記念奈良フォーラム」を2017年1月15日(日)に奈良県にて行います。多数のご参加をお待ちしています。

以上

【アジアコスモポリタン賞についてのお問い合わせ】

アジアコスモポリタン賞事務局
東アジア・アセアン経済研究センター(ERIA)
E-mail: asiacosmopolitan@eria.org
Tel: +62-21-5797-4460 (英語・日本語 可)
Mob : +62-813 0894 6956 (担当: 杉本)

【フォーラム内容・申し込みについてのお問い合わせ】

アジアコスモポリタン賞受賞記念奈良フォーラム2017事務局
株式会社コンベンションリンクージ内
E-mail: naraforum2017reg@c-linkage.co.jp
Tel: 06-6377-2188 / Fax: 06-6377-2075

【第3回ASIA COSMOPOLITAN AWARDS 受賞者 略歴】

大 賞



テイン・セイン(Thein Sein)

1945年イギリス領ビルマ(現ミャンマー)パテイン郡生まれ。前ミャンマー連邦共和国大統領

1963年に陸軍入隊。1967年 国軍士官学校卒業。軍では要職を歴任。1997年に国家平和開発評議会(SPDC)委員に就任。2007年に暫定首相を経て首相に就任し、大将に昇格。2010年4月に軍を退役し、首相職のまま、連邦連帯開発党(USDP)を結成し、党首に就任。

2010年11月 下院(国民代表院)議員選挙にて当選後2011年3月に23年ぶりの大統領に就任し、経済社会改革を推進し、軍政から民政への移行期のミャンマーを改革開放路線へと転換させた。現在USDP中央指導委員会委員。

経済・社会科学賞



藤田 昌久(Masahisa Fujita)

1943年 山口県生まれ。1966年京都大学工学部土木工学科卒業。京都大学工学部助教授、ペンシルバニア大学教授、京都大学経済研究所教授等を経て現職。2007年より京都大学経済研究所特任教授。2003年から2007年まで独立行政法人日本貿易振興機構(ジェトロ)アジア経済研究所所長、2007年から2016年3月まで独立行政法人経済産業研究所(RIETI)所長。日本学士院会員。

ポール・クルーグマン氏らとともに、従来の国際経済学や都市経済学、産業組織論のモデルに空間的概念を取り入れ、都市や産業の集積メカニズムを分析する「空間経済学」という新分野を構築し、その発展に多大な貢献を行った。

文化賞



ヘルマン・ファン・ロンパイ(Herman Van Rompuy)

1947年ベルギー王国・ブリュッセル生まれ。ベルギー王国国務大臣(2004年)、代議院議長(2007年)を経て、2008年から2009年までベルギー首相を務め、2009年初代欧州理事会常任議長に就任。以後2014年まで2期、議長を務めた。

オランダ語俳句作家としても知られ、2011年と2013年の二度、自身の俳句集を出版。俳句愛好家として、俳句を通じた日本文化の理解促進、日欧関係の強化に貢献してきていることから、2015年6月、日本国外務省より日EU俳句交流大使を委嘱された。2015年11月旭日大綬章受章。

賞の概略

賞の名称は「ASIA COSMOPOLITAN AWARDS」であり、日本における呼称は「平成遷都1300年記念アジアコスモポリタン賞」です。本賞は、東アジア域内における文化面・経済面での地域統合、域内の格差是正、持続可能な成長社会形成を主眼に、質的に充実した東アジア共同体形成に資する優れた貢献を行った個人・団体に対し、国籍を問わず、本賞発案の地、奈良県において原則2年に1回、授賞するものです。

賞の種類

ASIA COSMOPLITAN AWARDSには、大賞、経済・社会科学賞及び文化賞の3つの賞があります。なお、追加の賞を設置する場合があります。

❖ 大賞

経済・社会科学または文化の分野から最も顕著な功績のあった個人または団体に授与されます。

❖ 経済・社会科学賞

経済に関する学術研究、ビジネスモデル、産業技術、消費活動、安全保障、社会保障、政治学、哲学、その他社会科学全般において、優れた成果により、アジアにおける経済・社会科学面の育成、発展に貢献した個人または団体に授与されます。

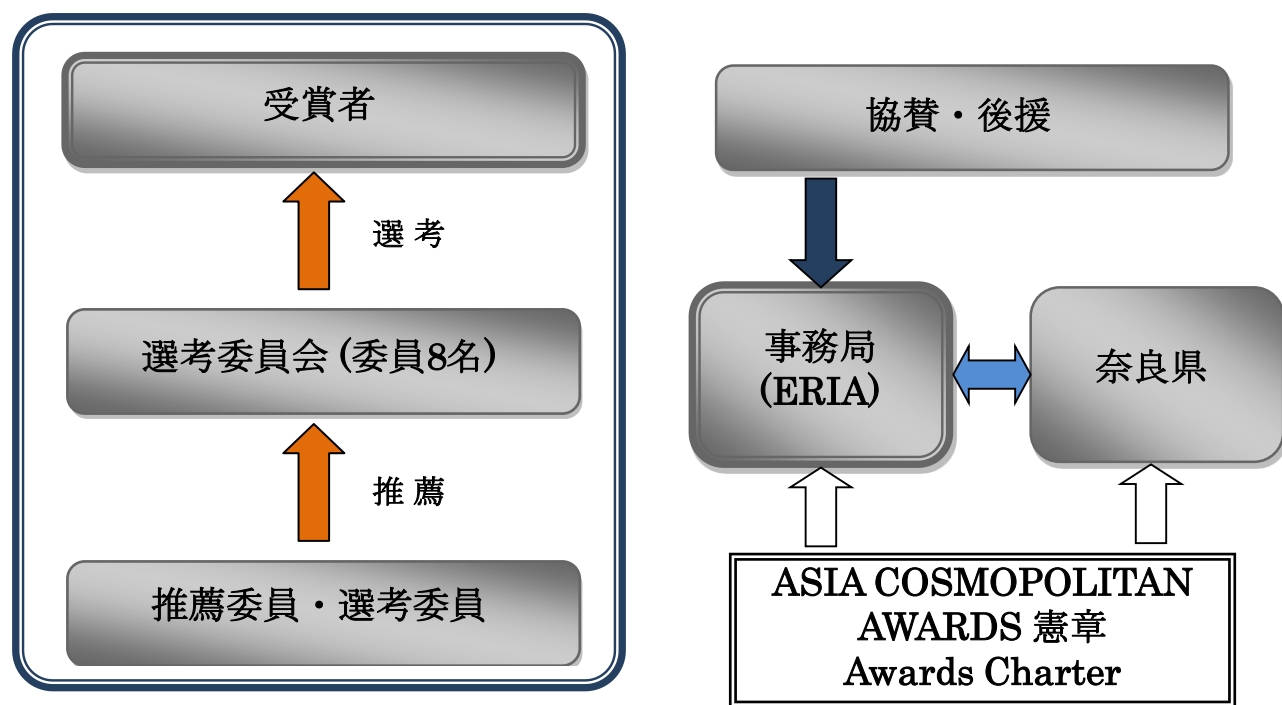
❖ 文化賞

芸術、文学、コンテンツ、その他文化に関する学術研究等において、優れた成果により、アジアにおける文化面の育成、発展に貢献した個人または団体に授与されます。

選考・審査プロセス

前述に関わる活動を対象に、東アジア16カ国を代表する経済・政策研究機関から成る推薦委員および選考委員（後述）により、「文化」、「経済・社会科学」の各部門において候補者が推薦されます。著名な文化人、有識者、各研究機関、組織の首脳等から構成される選考委員会（後述）にて更なる吟味と厳正なる選考を行い、最終的な受賞者を決定します。

東アジア・アセアン経済研究センターは事務局として、奈良県と緊密な連携の下に、「ASIA COSMOPOLITAN AWARDS憲章」に基づき、選考・審査をサポートします。



選考委員会

各賞の受賞者を決定するため、「ASIA COSMOPOLITAN AWARDS選考委員会」を設置します。選考委員会の委員「選考委員」は、各界の有識者で構成され、次頁のとおりとなります。選考委員の任期は原則2年ですが、再任も可能です。選考委員は、推薦委員と選考委員から推薦された受賞候補者を基に最終受賞者を決定します。

選考委員 (アルファベット順 A-Z)

青柳 正規、東京大学名誉教授、前文化庁長官

Prof. Masanori Aoyagi,

Professor Emeritus, University of Tokyo

Former Commissioner of the Agency for Cultural Affairs

荒井 正吾、奈良県知事

Mr. Shogo Arai, Governor of Nara Prefecture

有馬 朗人、武蔵学園学園長、元文部大臣

H.E. Dr. Akito Arima,

Chancellor of Musashi Academy of the Nezu Foundation

Former Minister of Education of Japan

李 御寧、韓国初代文化大臣

H.E. Dr. Lee O Young,

First Minister of Culture of Republic of Korea

中西 寛、京都大学公共政策大学院教授

Prof. Hiroshi Nakanishi,

Dean, Kyoto University School of Government

西村 英俊、東アジア・アセアン経済研究センター(ERIA)事務総長

Prof. Hidetoshi Nishimura, President of the Economic Research
Institute for ASEAN and East Asia (ERIA)

ノロドム・シリブッド、カンボジア協力平和研究所会長

H.R.H. Samdech Norodom Sirivudh,

Founder and Chairman of the Board of Directors

Cambodian Institute for Cooperation and Peace (CICP)

スリン・ピッスワン、ERIA特別顧問 前ASEAN事務総長

H.E. Dr. Surin Pitsuwan,

Special Advisor to the President of ERIA

Former Secretary-General of ASEAN

過去の受賞者

第1回

❖大賞



スパチャイ・パニチャパック (Supachai Panitchpakdi)
国連貿易開発会議(UNCTAD)事務局長(当時)

❖経済・社会科学賞



ベネディクト・アンダーソン (Benedict Anderson) 故人
政治学者、コーネル大学政治学部名誉教授

❖文化賞



井上 雄彦 (いのうえ たけひこ)
漫画家

❖メモラブル賞(特別賞)

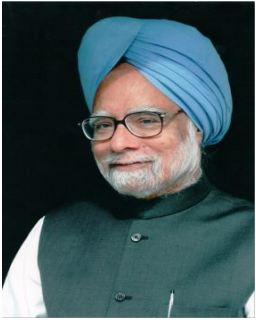


故ハディ・スサストロ (Hadi Soesastro)
インドネシア戦略国際研究所元所長

過去の受賞者

第2回

◆大賞



マンモハン・シン(Manmohan Singh)
前インド首相

◆経済・社会科学賞



ピーター・デーヴィッド・ドライスデール(Peter David Drysdale)
経済学者、オーストラリア国立大名誉教授



ワン・グンウ(Wang Gungwu)
歴史学者、シンガポール国立大学上級教授

◆文化賞



リティー パン(Rithy Panh)
映画監督



宝塚歌劇団

東アジア・アセアン経済研究センターとは
(Economic Research Institute for ASEAN and East Asia/ERIA)

ERIAは、東アジア経済統合の推進を目的として、政策研究・政策提言を行う国際的機関です。2007年の第3回東アジアサミットの議長声明等を受け、2008年にASEAN事務局において設立総会が開催され、正式に設立されました。ASEAN事務局がある本部はインドネシアの首都ジャカルタにあり、参加国はASEAN10カ国(ブルネイ、カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム)と日本、中国、韓国、インド、豪州、ニュージーランドの計16か国です。

ERIAは、政策研究事業の3つの柱として、「経済統合の推進」、「発展格差の縮小」、「持続可能な経済成長」を掲げ、調査分析・政策提言等の知的貢献を通じて、地域一体となった政策的取組を支援しています。具体的には、域内の研究機関のネットワークなども活用して各種政策研究プロジェクトを実施し、その成果を東アジアサミットやASEAN経済大臣会合等の場で各国首脳・閣僚を含む政策当局者に提言し、政策の実現を促しています。また、途上国の政策研究能力向上を目的としたキャパビル事業や、研究内容の普及と域内の産学官の幅広い関係者の意見交換の促進を目的として、各国において随時シンポジウム・セミナーを実施しています。

ERIAの主な活動内容は以下のとおりです。

① 経済統合の推進

- ・ 東アジア域内に併存する既存のFTAをデータベース化することで比較し、東アジア地域包括的経済連携(RCEP)に向け、今後の検討課題を分析
- ・ ASEAN首脳・閣僚等からのタスクアウトを受け、ASEAN経済共同体ブループリントの中間レビューなどを通じ、2015年のASEAN経済共同体実現を支援
- ・ AEC発足2015年以降のASEANとAECの課題を網羅的にまとめたASEAN RISINGを2015年に発表
- ・ 国連貿易開発会議(UNCTAD)と共同でASEAN各国における非関税措置を取りまとめたデータベースを構築

② 発展格差の縮小

- ・ 東アジアでの連結性強化のための青写真となる「アジア総合開発計画(CADP)」を策定し、2010年の東アジアサミットに報告。2015年にはその改定版CADP 2.0を2015年の東アジアサミットに提出した。
- ・ 2010年のASEANサミットで合意されたASEAN域内のインフラ開発のための「ASEAN連結性マスタープラン」の策定に協力。
- ・ カンボジア、ラオス、ミャンマー、ベトナムで主に政府関係者向けの人材育成支援事業を展開

③ 持続可能な経済成長

- ・ 東アジア地域の持続可能な成長に向け、「EASエネルギーアウトルック」、「バイオ資源開発ガイドライン」などを策定。

<http://www.eria.org/>

2016年11月25日